

政策評価調書(2年度実績)

政策名	地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興	政策コード	Ⅱ-3	関係部局名	商工観光労働部、生活環境部、土木建築部
-----	-----------------------	-------	-----	-------	---------------------

【Ⅰ. 政策の概要】

多様化する旅行ニーズに応じた国内誘客と、アジアから欧米・大洋州までウイングを広げた海外誘客を加速させるとともに、観光関連企業の経営力強化を通して、本県観光産業を稼げる産業、変化に強い産業へと転換していく。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名	指標評価	総合評価
1 国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速	著しく不十分	C
2 おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の経営力強化	著しく不十分	C

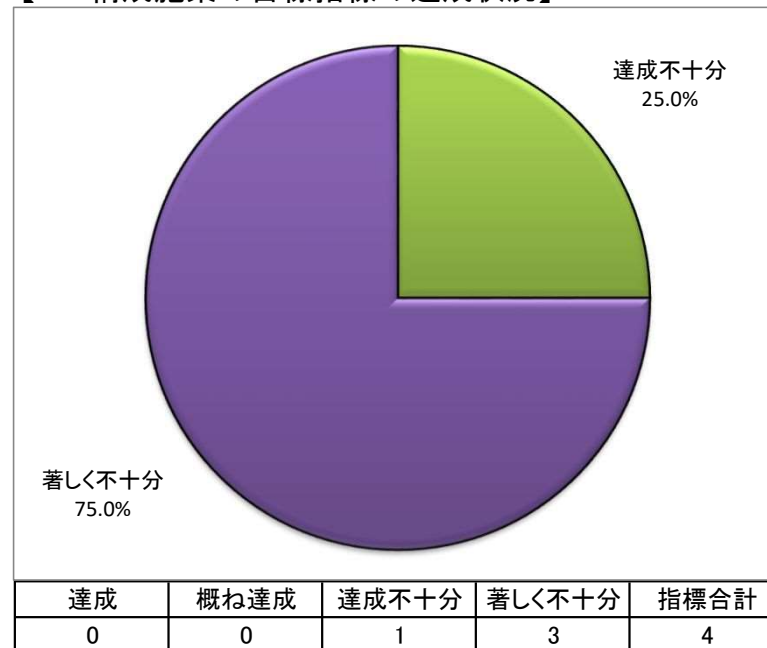
【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

近年頻発する自然災害や新型コロナウイルスの流行により観光産業の冷え込みが続いている。このような中、コロナ収束後を見据えて、本県の魅力発信を継続して行うほか、特定国に依存しない誘客を進めるため、東アジアをはじめ、ASEAN諸国等からの観光誘客の推進や多様化する旅行ニーズに対応し、ターゲットを絞った観光メニューの開発等が求められている。

アウトドア観光やマイクロツーリズムを中心に、コロナ禍でも安心して本県を楽しめるツーリズムの開発・提供を進めていく必要がある。

本県のおもてなしは観光客から高い評価を受けているが、観光客1人当たりの消費額は決して多くない。本県には、温泉だけでなく、豊かな自然とそこから生み出される多彩な食、千年の歴史をもつ旧跡や、各地に残る城下町や伝統芸能など、他地域に負けない観光資源がたくさんあることから、観光案内所や宿泊業者などを通じて県内の滞在時間延長を促進する仕組みを構築する必要がある。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
県内宿泊客数(千人)	64.7%
外国人宿泊客数(千人)	10.5%
観光消費額(億円)	57.2%

<著しく不十分となった理由>

新型コロナウイルスの感染防止対策による移動制限により目標値を達成することができなかった。

国内誘客については、旅行需要の多様化に対応し、首都圏などの富裕層、リピーターとなる近隣県等をターゲットとし、それぞれのニーズに応じた誘客対策を推進する。

インバウンドについては、コロナ収束後には、東アジアや欧米大洋州、ASEAN諸国等への誘客の多角化を図り、国・地域ごとのニーズに応じた情報発信や誘客対策を推進する。

観光消費額については、魅力的な観光サービスの開発による観光客の滞在時間の延伸や、観光案内所連携による県内周遊の促進を通じて観光消費の拡大を図る。